

広がれ連携の輪

子どもたちとの壁は

次第に広がりをもせる「スクールガード」。地区単位での取り組みのほかに、村内4小学校の通学路を巡回し村全体の安全を確認する「スクールガード・リーダー」の活動もあります。

黄緑色の帽子と腕章

スクールガード・リーダーを務めています。

黄緑色の帽子と腕章。「安全・安心パトロール中」と書かれたステッカーを車の前後に張り、村内の小学校を巡回する銭袋金也さん（上区・66）。村教育委員会から委嘱され、昨年7月1日からスク

ールガード・リーダーを務めています。銭袋さんは月曜日から金曜日まで朝夕の1日2回、村内の4小学校を交互に巡回しています。

2月15日午後3時、銭袋さんのパトロールに同行させていただきました。いただきました。

この日は堀内小学区のパトロール。役場から旭日区（北之股）を抜け、国道45号へ。そして白井峠で国道を右折、白井地区内を巡回します。さらにB&G海洋センターを通り抜け、堀内大橋に差しかかると、堀内小の児童が数人歩いていました。銭袋さんは車を止め「お帰りなさい。気を付けて帰ってね」と声を掛けます。子どもたちは不思議な顔もせず「はい分かりました。さようなら」と答えます。さらに車を進め

堀内小の正面玄関で車を降りました。子どもたちと笑顔で会話を交わす銭袋さん。そこには子どもたちとの壁は見当たらず、6カ月間の活動の結果がうかがえました。

自分ができていることを

スクールガード発足から6カ月。住民の皆さんのボランティアの力「住民力」で子どもたちが元気に学校に通学しています。普代小学区では旭日区をはじめ、上区、緑区、太田名部などで活動が広がっています。

あるお母さんは家の近くで、自分の子どもを見送った後、10分ぐらいその場所ではかの子どもたちを見守っていました。これも立派な見守り。地域、家庭によって事情はいろいろあると思います。大切なのは無理をせず、息の長い活動にすること。気負わず自分ができることを考えた1日でも、10分でも行動を起こすこと。それが大きな輪となり「住民力」になるのです。取材時はマイナスの気温でも、温かい取材でした。

スクールガード・リーダー

銭袋金也さんに聞きました



子どもから元気もらう毎日

昨年の7月1日からスクールガードリーダーとして村内の各小学校を巡回しています。

はじめのうちは戸惑いや照れくささがありましたが、子どもたちと会話を交わしたり、危険や安全など語り合ったりで、今では巡回して行くのが楽しみにもなりました。子どもたちから元気をもらって若返った気持で活動しています。

この元気でかわいい普代っ子たちの健全育成の手助けになればと思っています。地域の皆さんもご協力をお願いします。

「日課になってきました」

朝7時10分になると、「あー、そろそろだなー」と思って家をでます。それが今は日課になってきました。わたしが立っている場所は道路が狭く、結構車が多いですよ。子どもたちに「ご苦労さまです」と言われると、うれしいもんですね。



伏山忠歳さん
(旭日区・70歳)



日向良介さん
(旭日区・72歳)

「“地域の目”で守りたい」

見守り隊の活動は不審者対策に限らず交通安全も目的にしています。あいさつ、確認、お礼、歩行者と運転者の良い関係を築くことが交通安全には必要だと思います。さらに非行の防止も含め、わたしたちが「地域の目」で守っていければと思っています。